

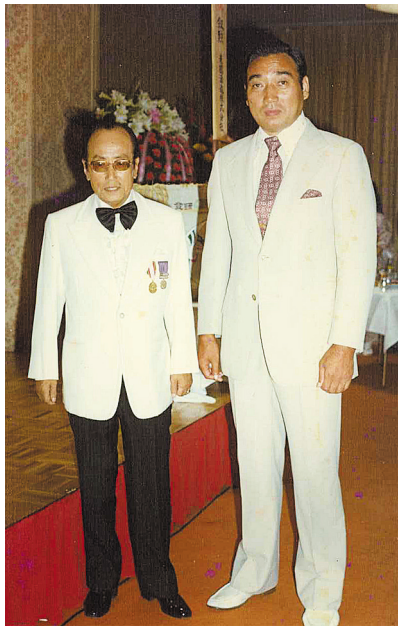


## ふるさとPRマン (下)

### アジャパーの伴淳

「アジャパー」の一発ギャグを覚えている人はどれだけいるか? 「ゲッツ」「ザンネン!」「ワイルドだぜ!」でさえも懐かしい。谷啓の「ガチョーン」もすごい昔になってしまったなあ、と思い出にふけていたら昭和26(1951)年の出演映画でアジャパーをはやらせた伴淳三郎と柏戸のツーショット写真が出てきた。

「あれまあ」「あらまあ」



のような感覚で発した言葉が、若者に大ウケで、2年後に「アジャパー天国」なる主演映画も作られるほどの人気者になった。

鏡山親方と「バンジュン」

沢生まれで山形市育ち。柏戸に劣らず故郷思いだった。

### 映画で盛り上げたい

こと伴淳三郎。この2人がよく一緒になったのが、東北四大まつり「山形花笠まつり」のパレードだった。青森ねぶた、秋田竿灯、仙台七夕、従来の「三大まつり」への新たな名乗り。全国的に有名な「花笠音頭」の大イベント化に兩人とも協力した。

### 庄内舞台の青春映画

「ふるさとを盛り上げたい」と言いつつ、山形が舞台の映画を発案。主要人物としても登場した。鼠ヶ関を舞台にしたのが関根恵子(現高橋恵子)がデビュー間もない頃の大映映画「成熟」(46年)だった。

この映画で伴淳は関根の恋人(篠田三郎)の父親役で出演している。農業高生・関根と水産高生・篠田。実家の職業が違う敵対している同士の子供が恋愛関係に。「ロミオとジュリエット」そのままの青春映画だった。今や庄内農業、加茂水産両校とも生徒減で広範統合される方向にあるだけ

コミカルな役で人気を博した伴淳だが、蝶ネクタイの白いスーツ姿は貫禄十分

に、今は昔の話となってしまう。この映画の直前には主役級がほぼ同じ俳優たちで「樹氷悲歌(エレジー)」と上山・蔵主を舞台にした映画も撮られた。

また上山競馬場を舞台にした43年の「喜劇競馬必勝法・一発勝負」では競馬場の獣医役を務めた。上山競馬場が売り上げ減で廃止されて17年たつ。伴淳が56年73歳で亡くなってからすでに39年がたってしまった。

### パレードで手を振る

東北の中でも欲がないというか、おっとりしている県民性もあってか、スポーツでは夏の甲子園でも隣県との代表決定戦制度の歴史の中で山形は秋田、宮城になかなか勝てなかった。競争が激しいショービジネスでもメジャーな存在はな

かなか現れなかった。歌手の岸洋子は大きな存在だったが、他はあまり思い浮かばない。それだけに人気全無の柏戸と伴淳がオープンカーの上で愛想良く花笠を振る祭りは盛り上がったものである。ただ伴淳は笑顔の裏で「東北の人間ってのは、スーパードンゴラで世界へ行っても虐げられた。よし、おれはこのザンネンで偉くなってやるぞと考

えた。役者がもつとも嫌がる泥臭さを狙った」と俳優としての自負は強烈なものを持っていた。一方、鏡山親方は「故郷からはよく応援してもらった。花笠まつりは夏を彩るいい祭りだ」とこの夜だけは夏合宿中の鶴岡からまだ高速化されていない道路を山形まで出向いていたものである。 || 敬称略 || (富樫 嘉美)

### ポスターにドキドキ

○:「成熟」は映画ポスター||写真||が鮮烈だった。稲穂が実る秋の庄内平野に若き美しい関根恵子がヌード姿で立った。当時16歳。大映作品を上映していた鶴岡座のポスターが街中に貼られ、地元の少年たちは胸をドキドキさせられた。伴淳はポスター右に八の字ヒゲの麦わら帽子姿で写っている。



毎週火曜日付に掲載